

# 2024 年度

## 入学試験募集要項

### 総合型選抜

ミュージック・リベラルアーツ専攻

(外国人留学生を含む)

[春学期入学者・秋学期入学者]

#### アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

- 大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式を捉える力、楽典の知識が、一定のレベルに達していることが重要です。
- 音楽の学習には外国語も必要です。
- 専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

#### ●ミュージック・リベラルアーツ専攻

音楽を愛し、音楽を専門分野として修得する意欲をもつとともに、高等学校までの基礎的な英語力があり、人や社会、歴史に幅広く関心を持ち、主体性をもって学ぶ意欲のある学生を歓迎する。

東京音楽大学

# 2024 年度 東京音楽大学

## ミュージック・リベラルアーツ専攻 総合型選抜 募集要項

### (外国人留学生を含む)

ミュージック・リベラルアーツは、音楽、英語、リベラルアーツ(教養)を同時に深く学べる専攻です。英語の語学力に加え、専門実技においても声楽、器楽、作曲・指揮各専攻と同等の学修を行なうことができます。

本選抜試験は、専門実技、語学力、教養研鑽への意欲旺盛な受験生の選抜を目的とします。

#### 1. 募集専攻および募集人員

ミュージック・リベラルアーツ専攻 (全ての総合型選抜合わせて) 90 名

#### 2. 出願資格

次の 1.~3.の条件のいずれかに該当する者とします。

番号	春学期入学者	秋学期入学者
1.	高等学校または中等教育学校を卒業した者または 2024 年 3 月に卒業見込みの者	高等学校または中等教育学校を卒業した者または 2024 年 8 月に卒業見込みの者
2.	通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および 2024 年 3 月修了見込みの者	通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および 2024 年 3 月修了見込みの者
3.	<p>高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2024 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(1) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者(2024 年 3 月 31 日修了見込みの者を含む)、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および 2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および 2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)および 2024 年 3 月 31 日までに合格見込みの者</p>	<p>高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2024 年 9 月 30 日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(1) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者(2024 年 9 月 30 日修了見込みの者を含む)、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および 2024 年 9 月 30 日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および 2024 年 9 月 30 日までに修了見込みの者</p> <p>(4) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)および 2024 年 9 月 30 日までに合格見込みの者</p>

※上記に加え、ピアノ課題(B) c 課題で受験する場合は、以下 4.に該当していること。

4. 出願時点で国内外の音楽コンクールにおいて入賞した者または演奏家活動をしている者および 2024 年 4 月 1 日時点で 20 歳以下の者

※ミュージック・リベラルアーツ専攻総合型選抜 ピアノ課題(B) c 課題受験者は、専門実技において卓越した技量を有する受験生を対象とした器楽専攻・優秀者総合型選抜に相当します。受験結果により学費全額、または一部が免除される場合があります。ただし、合格しても奨学金対象者にならない場合があります。

### 3. 出願要件

次のすべての要件を満たす者とします。

- (1) 本学への入学を専願とする者
- (2) 次の条件のいずれかに該当する者。

出願時に証明書の原本を1種類提出すること。

- ケンブリッジ英語検定 140 以上
- 実用英語技能検定 2 級 以上
- GTEC(アセスメント版を除く) 960 以上(2023 年 3 月末まで取得)/930 以上(2023 年 4 月以降取得)
- IELTS 4.5 以上
- TEAP 225 以上
- TEAP CBT 420 以上
- TOEFL iBT® 52 以上
- TOEIC® (L&R/S&W) 1150 以上(公開テストのみ)※
- TOEIC Bridge® (L&R/S&W) 170 以上(公開テストのみ)※
- 国内外を問わず中高等教育において1年以上継続して主として英語で教育を受けた者
- 国際バカロレア(IB)資格取得者
- SAT 資格取得者(東京音楽大学の登録コード番号は7804です)

※TOEIC および TOEIC Bridge (L&R/ S&W)については、S&W のスコアを 2.5 倍にして合算

### 4. 選考方法

書類審査(志望理由書、調査書等)、実技試験および面接(「英語」または「英語および日本語」)で選考します。

ただし、ピアノ課題(B) c 課題で受験する場合は、1 次試験は書類審査(志望理由書、調査書等)、2 次試験は実技試験および面接で選考します。実技試験および面接の課題は 8~17 ページを参照してください。

ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ)、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)については、「対面式」または「非対面式(実技の動画審査およびオンライン面接)」から選択することが可能です。但し、実技試験をピアノ課題(B) c 課題で受験する場合は「対面式」で実施します。非対面式で受験する場合は、パソコン・スマートフォン・タブレットいずれかの機器が必要です。  
※パソコンの場合は、カメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種を使用してください。  
※イヤホンまたはヘッドフォンを用意してください。

### 5. 入学検定料

28,000 円

出願期間内に Web 出願サイトから決済手続きをしてください。お支払い完了後に決済完了メールが送信されます。

## 6. 日程一覧

試験会場・日程の詳細は、試験初日の3日前までに、メール等でお知らせします。  
試験日時・会場に関する電話やメールでのお問合せはご遠慮ください。

### 【春学期入学者】

出願期間	2023年9月26日(火)～10月3日(火) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">消印有効</span>
------	---

#### ■ピアノ課題(B) c 課題で受験する場合

1次試験	書類審査
1次試験可否通知	2023年10月17日(火) 受験者宛に通知
2次試験	2023年10月27日(金)～10月29日(日)実技試験および面接
最終合格者発表	2023年11月10日(金)15:00～11月13日(月)17:00 本学ホームページにて発表 ※電話等による問い合わせには応じません。
入学手続期間	2023年11月13日(月)～11月20日(月) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">消印有効</span>

#### ■ピアノ課題(B) c 課題以外で受験する場合

試験	2023年10月27日(金)～10月29日(日)実技試験および面接
最終合格者発表	2023年11月10日(金)15:00～11月13日(月)17:00 本学ホームページにて発表 ※電話等による問い合わせには応じません。
入学手続期間	2023年11月13日(月)～11月20日(月) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">消印有効</span>

### 【秋学期入学者】

	A 日程	B 日程
出願期間	2024年1月6日(土)～1月16日(火) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">消印有効</span>	2024年3月1日(金)～3月7日(木) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">消印有効</span>
試験日	2024年2月16日(金)～2月20日(火)	2024年3月19日(火)～3月20日(水)
合格発表	2024年2月28日(水)15:00～ 2024年3月1日(金)17:00	2024年3月22日(金)15:00～ 2024年3月25日(月)17:00
入学手続期間	2024年2月29日(木)～3月8日(金) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">消印有効</span>	2024年3月23日(土)～3月26日(火) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">消印有効</span>

※2月、3月の入試では、ピアノ課題(B) c 課題での受験はできません。

## 7. 出願手続

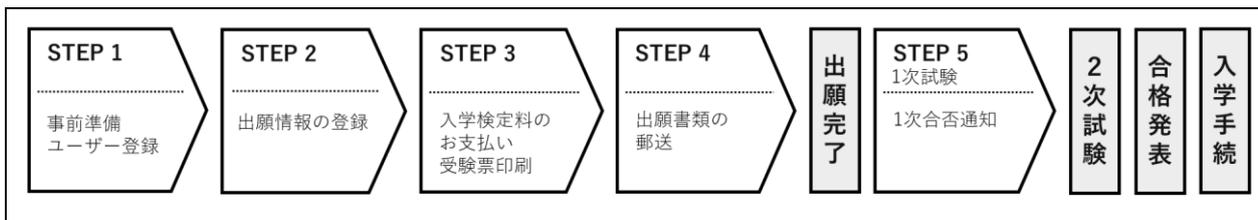
### (1) 出願の流れ

本学ホームページの「入試案内(学部)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、  
下記の手順に沿って出願を行ってください。

※出願書類の郵送を終えて出願完了となります。

出願ガイド

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>



## STEP 1

### ① Web 出願にあたっての事前準備（詳しくは「出願ガイド」をご覧ください）

- インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかの機器
- メールアドレス

各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン「@grapecity.com」「@sbpayment.jp」「@contact.grapecity.com」「@tokyo-ondai.ac.jp」からのメール受信ができるように設定を行ってください。  
入学試験用に新たに作成される場合はフリーアドレス(@yahoo.co.jp や@gmail.com 等)の取得を推奨します。

- プリンター\*
  - PDF 表示・印刷ソフトウェア
  - 本人写真(カラー写真データ)
- \*自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。

### ② 「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」からユーザー登録を行ってください。

(「出願ガイド」: <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>)

※今年度本学受験講習会等で登録をしている方は再登録不要です。

※昨年度以前メールアドレス登録画面で「来年度もこのメールアドレスを利用する」にチェックを入れた場合は再登録不要です。

### ③ 出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている必要な書類を確認・準備してください。

## STEP 2

### 「出願ガイド」から出願登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」から出願登録を行ってください。

## STEP 3

### 入学検定料のお支払い・受験票の印刷

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。

※検定料のほかに支払手数料が必要です。

検定料支払後、「受験票印刷のお知らせメール」に従って受験票を印刷してください。

## STEP 4

### 出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

① Web 出願サイトから志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずに、A4 サイズで印刷してください。

② 本学ホームページ「入試案内(学部)」から「出願書類ダウンロード」を選択し、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類が全て揃っているか確認し、他の書類と一緒に提出してください。

(「出願書類ダウンロード」: <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>)

③ レターパックライトを使用して、表面に宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。

※レターパックはポスト投函できますが、出願期限最終日に郵送する場合は、郵便局の窓口に出すことをお勧めします。郵送をもって出願完了となります。

## STEP 5

### 1次合否通知・受験票の扱い

1次試験合格者には、東京音楽大学から「合格通知」が届きます。

実技試験および面接試験当日、STEP 3 で印刷した受験票を持参してください。

「非対面式」受験者は面接の際、受験票をお手元にご用意ください。

## (2) 出願書類一覧

以下の該当する書類を一括して、宛名ラベルを貼付けの上、「レターパックライト」で郵送してください。なお、以下の書類は「A.Web 出願サイト」または「B.出願書類ダウンロード」よりダウンロードし印刷してください。

<p>(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)</p> <p>A. Web 出願サイト(ユーザー登録・出願情報の登録、志願票・宛名ラベル印刷)</p> <p><a href="https://lsg.grapacity.com/tokyo-ondai/App/Account/login">https://lsg.grapacity.com/tokyo-ondai/App/Account/login</a></p>	
<p>B. 出願書類ダウンロード</p> <p><a href="https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam">https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam</a></p>	

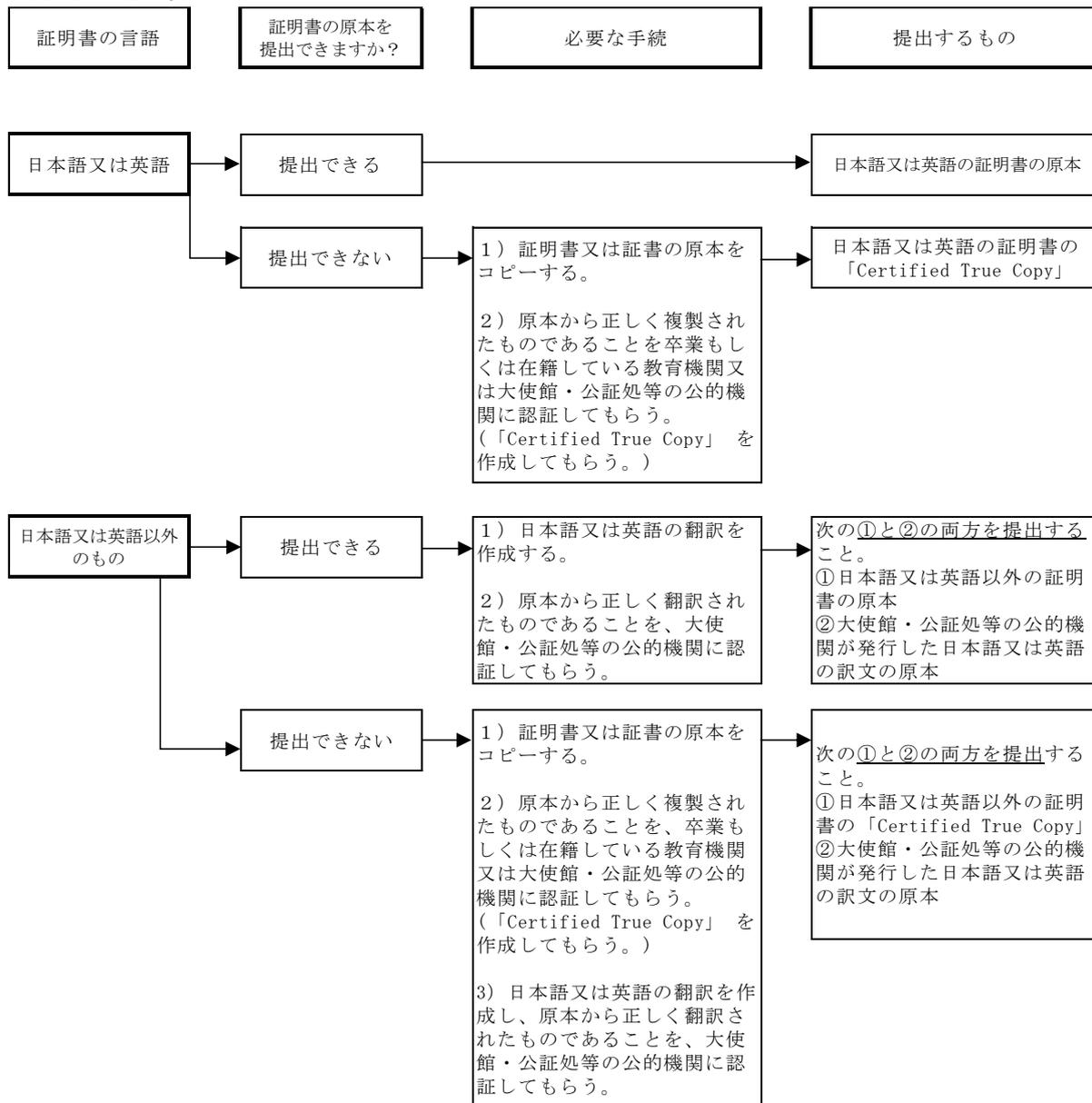
出願書類		注意事項
1	志願票	上記AのURLから印刷してください。
2	宛名ラベル	
3	曲目記入票	上記BのURLから印刷してください。
4	志望理由書	
5	履歴書(1)(2)	
6	同意書	
7	出願書類チェックリスト	
8	演奏実技動画	
9	調査書	
10	英語資格証明書(2ページ「3.出願要件」参照)	英語資格に該当する証明書の原本(コピー不可)。証明書は返却しません。
11	伴奏譜	声楽A、B課題およびヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスのB課題選択者(19ページ「伴奏譜の提出について」参照)

**\*外国籍の方は、以下の書類も提出してください。**

12	パスポートのコピー	氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限のページをA4サイズの用紙にコピーして提出してください。ビザのページではありません。
13	日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書	外国人留学生で日本語能力試験N1またはN2に合格している場合は「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の原本を提出してください。※「日本語能力認定書」の提出は必要ありません。
14	在留カードのコピーまたは住民票	日本国内在住者のみ、提出してください。 ①居住する区・市役所で発行される出願時に有効な在留カードのコピーまたは住民票を提出してください。 ②在留カードのコピーを提出する場合は、裏面に記載事項がなくとも、必ず表・裏両面をA4サイズの用紙にコピーしてください。 ③住民票を提出する場合は、在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載を含むもので、出願時の3か月以内に発行されたものを提出してください。

## 卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項

- 卒業証明書、成績証明書等の証明書類は原本(卒業もしくは在籍している教育機関が発行し、証明した書類)、または教育機関・大使館・公証処等の公的機関より原本からの正しい複製であるという証明(Certified True Copy)を受けた書類を提出してください。
- 日本語または英語以外の言語で記載された証明書は、大使館・公証処等の公的機関または、翻訳者としての資格を有する翻訳者による翻訳文を原本に添付してください。
- 全ての提出書類の氏名・生年月日等はパスポートの記載と一致しているものを提出してください。
- CHSI(中国教育部学歴認証センター)が発行する、英文の「学歴認証報告書」について
  - ・中国の教育機関を卒業された方は、中国教育部学歴認証センターまたは、中国教育部学歴認証センター日本代理機構(<http://www.chsi.jp/>)でも公証手続きを行っています。
  - ・「学歴認証報告書」は、CHSI から直接「nyushi@tokyo-ondai.ac.jp」にメールで届くよう、手続きを行ってください。英文以外の認証報告書や、出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。
  - ・出願書類の準備に時間がかかる場合があります。詳細は、CHSI の Web サイトを確認の上、早めに手続きを開始してください。



### (3) 提出先

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1 東京音楽大学入試課 電話03-6455-2754(直通)

## 8. 試験会場

- ・東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス(東京都目黒区上目黒 1-9-1)
- ・東京音楽大学 池袋キャンパス(東京都豊島区南池袋 3-4-5)

※試験会場・日程の詳細はメールで送信する案内を参照してください。

<アクセス>



### 学校保健法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ・はしか等)にかかり治癒していない場合、その感染症が他の受験者や試験監督者等に拡がるおそれがありますので、入学試験を受験することはできません。また、試験当日の検温により発熱があった場合や、通常とは異なる体調不良があり感染症に罹患している可能性がある場合も、受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。

上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として、追試験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。

尚、感染状況等により事情が変わった場合には、改めてホームページ等でお知らせします。

## 9. 入学手続

### (1) 入学手続書類送付および学費等の納入

合格者には、合格発表後速やかに願書記入の現住所に入学手続書類を郵送しますので、同封の案内に従って手続きをしてください。期間内に手続を完了しない場合は、合格を取り消します。

※入学手続書類の提出は郵送(簡易書留)のみとします(期間最終日の消印有効)。

### (2) 入学手続書類

- ①誓約書 ②その他本学が指定したもの

### (3) 提出先

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1 東京音楽大学入試課

### (4) 学費その他の納入金

本学の学費については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/expenses>



### 「教育充実協力金」について

本学では、教育施設および設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様に寄付をお願いしております。ご寄付は原則として任意でございますが、一口 10 万円で一口以上のご協力をよろしく願います。なお、協力金に関する資料は入学許可後にお渡しいたします。

## ■実技試験および面接の課題

### 1. 面接

「英語」または「英語および日本語」で行う(試験当日、本人の希望を確認する)。

音楽に関する基礎知識を問う質問を含む。

ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ)、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)受験者で「非対面式」で受験する場合の面接は Zoom で行います。詳細は出願締め切り後に個別に連絡します。

### 2. 実技 以下の声楽、ピアノ、弦楽器、管打楽器、作曲、指揮、古楽器、邦楽器から実技をひとつ選択

#### ■声楽

以下の課題(A)、(B)より1つを選択すること。

(A) 自由曲2曲(演奏の途中で打ち切ることがある。暗譜)

(B) 声楽専攻声楽芸術の課題

#### ■ピアノ

以下の課題(A)(B)より1つを選択すること。

(A) 器楽専攻ピアノの課題

(B) 器楽専攻ピアノ演奏家コースの課題

※ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)の受験結果により、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ)に合格となる場合があります。

※ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ)に合格した**春学期入学希望者**は、2024年2月に行われる転コース試験を受験し合格することにより、ピアノ演奏家コースへ転コースすることができます。(詳細は、後述の「ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)への転コースについて」を参照)

#### ■弦楽器[ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター]

以下の課題(A)(B)より1つを選択すること。

(A) 自由曲7-15分程度(複数曲可。暗譜。伴奏なし)

(B) 器楽専攻弦楽器の課題(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスは試験前日に伴奏合わせを行います)

#### ■管打楽器[フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、

バス・トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、ティンパニ、マリンバ、小太鼓]

以下の課題(A)(B)より1つを選択すること。

(A) 自由曲7-15分程度(複数曲可。暗譜の必要なし。伴奏なし)

(B) 器楽専攻管打楽器の課題

#### ■作曲

(1) 与えられた動機による楽曲の創作(5時間)

(2) 楽器演奏(自由曲3分以上。自作曲不可。暗譜。演奏後に演奏や作曲についての簡単な質問をすることがある。)

#### ■創作

(1) 作品提出1曲ないし2曲(組曲は1曲とみなす)

※編成、演奏時間は任意。

※楽譜は、鮮明な自筆あるいはコンピュータ浄書とする(コピー可)。

※表紙に曲名、氏名を記入し、簡易に製本すること。

※譜面各ページの右上に氏名を必ず記入し、ページ番号を表記すること。

※出願書類と共に提出すること。但し、出願書類に同封できない場合は別送可。

(2) 楽器演奏(自由曲3分以上。自作曲不可。暗譜。演奏後に音楽についての簡単な質問をすることがある)

(3) 提出作品に関する口述試問

#### ■指揮

(1) 小論文(英語または日本語 60分)

(2) 聴音(単旋律)

(3) 指揮実技

F.ブルグミュラー:25の練習曲

以下の8曲より当日指定

Nos.3, 4, 9, 15, 16, 19, 22, 25

(4) 演奏実技(ピアノを含む任意の楽器を演奏)※声楽を含まない

(5) 指揮担当教員による面接

#### ■古楽器[リコーダー、リュート、チェンバロ、オルガン]

自由曲7-15分程度(暗譜の必要なし。伴奏なし。オルガンはペダルなしでもよい)

#### ■邦楽器[箏(生田流)、長唄三味線、琵琶(鶴田流) 古典尺八]

自由曲5分以上(複数曲可。暗譜)

以下は、声楽専攻、器楽専攻の課題

声楽専攻

声楽芸術

すべて暗譜で歌うこと。伴奏者は大学が用意する。

(1) 課題曲：次の課題曲表から3曲を選ぶこと。その中から当日1曲指定する。

※歌詞は原語で歌うこと。

※演奏の途中で打ち切る場合がある。

※( )内のアルファベットは調を表す。これら以外の調で歌う場合は移調譜を出願書類と共に提出すること。

No.	曲名	作曲者
①	Già il sole dal Gange ( B, As, G )	A. Scarlatti
②	Se tu della mia morte ( g, f, e )	A. Scarlatti
③	Sento nel core ( g, f, es )	A. Scarlatti
④	Lasciar d' amarti ( g, f, d )	F. Gasparini
⑤	Star vicino ( A, B, G )	L. Mancina (伝 S.Rosa)
⑥	Sebben, crudele ( e, d, c )	A. Caldara
⑦	Vergin, tutto amor ( d, c, h )	F. Durante
⑧	Nina ( g, fis, e, d )	作曲者不詳
⑨	Nel cor più non mi sento ( F, G )	G. Paisiello
⑩	Sogno ( B, As, Ges )	F. Tosti
⑪	An Chloe ( Es, C )	W. A. Mozart
⑫	Ich liebe dich ( G, F )	L. v. Beethoven
⑬	An die Musik ( D, C, B )	F. Schubert
⑭	Geheimes ( As, F, Es, D )	F. Schubert
⑮	Lachen und Weinen ( As, F, E )	F. Schubert
⑯	Die Lotosblume ( F, Es, Des )	R. Schumann
⑰	Widmung ( As, Ges, F )	R. Schumann
⑱	Dein blaues Auge ( Es, D )	J. Brahms
⑲	Sonntag ( G, F, Es )	J. Brahms
⑳	Zueignung ( C, A, G )	R. Strauss
㉑	秋の月 [山田耕筰 編曲] ( h )	滝 廉太郎
㉒	荒城の月 [山田耕筰 編曲](1,2 番) ( d, c )	滝 廉太郎
㉓	母 ( As, G, F )	小松 耕輔
㉔	この道 (1,2番) ( E, D )	山田 耕筰
㉕	北秋の『沙羅』より ( D, Des )	信時 潔
㉖	行々子 『沙羅』より ( Fis, F )	信時 潔
㉗	浜千鳥 ( Es, C )	弘田 龍太郎
㉘	浜辺の歌 (1,2番) ( As, F )	成田 為三
㉙	ゆりかご ( E, D )	平井 康三郎
㉚	むこうむこう ( F )	中田 喜直

(2) 自由曲：1曲(4分以内)。ただし、(1)の課題曲表以外の曲目とする

※日本歌曲、ミュージカルナンバー可\*。

※オペラ・アリアは原調で歌うこと。

※伴奏譜を出願書類と共に提出のこと(前奏、間奏、後奏のカット可。その他の部分のカットが記載されている場合は、本学で確認し、内容によっては訂正を求めることがある)。

\*ミュージカルナンバーについて

・訳詞による歌唱可。言語は限定しない。マイクの使用不可。伴奏譜は出版譜に限る。

## ピアノ

暗譜で演奏すること。

次のaまたはb課題を選択すること。

## a課題

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)  
※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。
- (2) 次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の1曲
  - (イ) モシユコフスキー Op.72
  - (ロ) クレメンティ (タウジヒ編による29の練習曲より選択のこと)
  - (ハ) チェルニー Op.740 (50番練習曲)
  - (ニ) モシエレス
  - (ホ) ショパン Op.10、Op.25(Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く)
- (3) 自由曲(5分以上 8分程度。複数曲可。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること。)  
省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

## b課題

自由曲(12分以上17分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)  
省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

## ピアノ演奏家コース

※暗譜で演奏すること。

※次のa、b、cより選択すること。

※c課題は春学期入学希望者のみ選択可。

## a課題

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)  
※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。
- (2) ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25より任意の2曲(Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く)
- (3) 次の①または②を選択すること。
  - ①(イ)～(ト)の練習曲集より任意の1曲
    - (イ) リスト
    - (ロ) ドビュッシー
    - (ハ) スクリャービン Op.8、Op.42、Op.65
    - (ニ) ラフマニノフ Op.33、Op.39
    - (ホ) プロコフィエフ Op.2
    - (ヘ) バルトーク Op.18
    - (ト) リゲティ
  - ② ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から、任意の楽章を1つ
- (4) 自由曲(12分以上15分程度。複数曲を演奏する場合は、楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)  
省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

## b課題

自由曲(25分以上30分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)  
省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

## c課題 ※「対面式」のみ実施

次の(1)～(5)をあわせて60分以上のプログラムを組むこと。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること。

※曲順は当日試験委員が指定する。※暗譜で演奏すること。

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)
- (2) ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25より任意の3曲。
- (3) 次の練習曲集の中から、任意に1曲を選択すること。
  - (イ) リスト
  - (ロ) ドビュッシー
  - (ハ) スクリャービン Op.8、Op.42、Op.65
  - (ニ) ラフマニノフ Op.33、Op.39
  - (ホ) プロコフィエフ Op.2
  - (ヘ) バルトーク Op.18
  - (ト) リゲティ
- (4) ベートーヴェンのソナタより任意の1曲(全楽章)
- (5) 自由曲 ロマン派および近現代の作品から自由選択

## 弦楽器

### ヴァイオリン

#### (1) 音階および分散和音

Carl Flesch: Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』)より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指の指定なし。

- ① 第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。♩ = 60 以上 (スラーは下記の C-dur に準ずる)
- ② 第 6、7、8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。♩ = 60 以上 (スラーは 16 分音符 4 個以上とする。1 小節 2 弓でも可。下記の第 6 番参照)

#### 第5番 ♩=60以上

#### 第6番 ♩=60以上

#### (2) 練習曲

P. Rode, J. Dont (Op.35), N. Paganini の練習曲、カプリスより任意の 1 曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の 1 曲

#### (3) 任意の協奏曲より第 1 楽章 (カデンツァを含む)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※演奏によりヴィオラに適性ありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。

※(1)~(3)の順で演奏すること。

## ヴァイオラ

### (1) 音階および分散和音

Carl Flesch: Scale system より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指、運弓の指定なし。

- ① 第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。♩=60 以上(スラーとリズムは p.9 の譜例に準ずる)
- ② 第 6、7、8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。♩=60 以上(スラーは 16 分音符 4 個以上とする)

### (2) B. Campagnoli : 41 Caprices (B. カンパニョーリ『41 のカプリース』) から任意の 1 曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の 1 曲

### (3) 次の (イ) ~ (ニ) より任意の 1 曲

- (イ) Johann Christian Bach: 協奏曲ハ短調より 第 1 楽章
- (ロ) Carl Stamitz: ヴァイオラ協奏曲ニ長調作品 1 より 第 1 楽章(カデンツァを含む)
- (ハ) Franz Hoffmeister: ヴァイオラ協奏曲ニ長調 より 第 1 楽章(カデンツァを含む)
- (ニ) 上記の(イ)~(ハ)と同程度もしくはそれ以上の曲から 1 曲(版の指定なし)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※ヴァイオリンによる受験可。出願書類の志望欄にヴァイオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

※(1)~(3)の順で演奏すること。

## チェロ

### (1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指およびテンポの指定なし。

#### 【音階】



#### 【分散和音】



### (2) 練習曲

次の(イ)~(ハ)より任意の 1 曲

- (イ) D. Popper: Hohe Schule des Violoncellspiels, Op.73 (ポツパー:40 の練習曲)
- (ロ) J. L. Duport: 21 études (デュポール:21 の練習曲)
- (ハ) A. Schroeder: 170 foundation studies for violoncello, 2 (シュレーダー:170 の基礎練習第 2 巻)

### (3) 任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章または最終楽章

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※(1)~(3)の順で演奏すること。

## コントラバス

---

### (1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。

### (2) 下記のいずれかを選択すること。

(イ) 任意のソナタより第 1 楽章と第 2 楽章

(ロ) 任意の協奏曲より第 1 楽章または最終楽章

※オーケストラチューニング、暗譜で演奏すること。

※(2)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に準ずる)。

※(1)~(2)の順で演奏すること。

## ハープ

---

(1) F. J. Naderman : 7 Sonates progressives, Op. 92 より任意の第 1 楽章

(2) 自由曲 (J. L. Dussek のソナタまたは同程度の難易度の作品) 1 曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

※(1)~(2)の順で演奏すること。

## クラシックギター

---

(1) F. Sor または H. Villa-Lobos の練習曲より任意の 1 曲

(2) 自由曲 1 曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

※(1)~(2)の順で演奏すること。

## 木管楽器

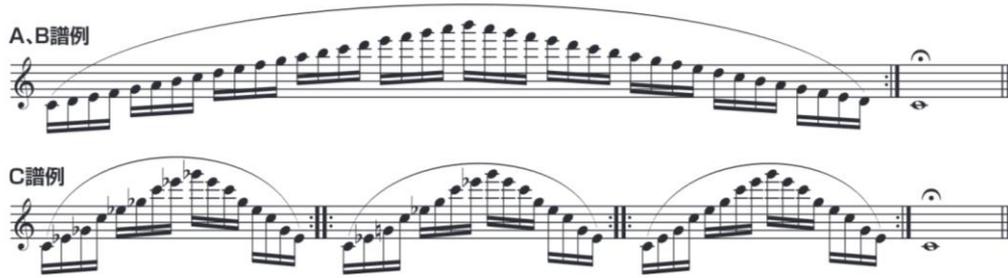
### フルート

---

#### (1) 音階および分散和音

M. Moysé: Exercices journaliers pour la flûte (M. モイーズ『フルートのための日課練習』)より 長音階(A)、短音階(B)、分散三和音(C)を演奏する。♩ = 60(譜例参照)

A,B譜例



C譜例



(2) J. Andersen: 24 Studies for flute, Op. 15 ( J. アンデルセン『24のエチュード 作品15』)より No. 3, No. 18

(3) W. A. Mozart: フルード協奏曲 第1番ト長調 K. 313より第1楽章(カデンツァは含まない)

※いずれも版の指定なし。暗譜の必要なし。演奏箇所は当日指定する。

※(3)の伴奏者は大学が用意する(楽譜の提出不要)。前奏は Solo の4小節前より始める。

### オーボエ

---

#### (1) 音階

次のA、B いずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜。

A例



B例



(2) F. W. Ferling: 48 Etudes, Op. 31 (F. W. フェルリンク『48のエチュード』) Nos. 5-10の中から当日指定する。

※(2)は版の指定なし。暗譜の必要なし。

### クラリネット

---

#### (1) 音階

R. Eichler: Scales for Clarinet より各調の1番をスラーで演奏すること。調性は当日指定する。暗譜。

(2) E. Cavallini: 30 Capricci (Ricordi)より Nos. 16, 19, 22の3曲。演奏箇所は当日指定する。

(3) C.M.v. ウェーバー: クラリネット小協奏曲 変ホ長調 作品26(カデンツァは演奏しない)。

※伴奏者は大学で用意する(楽譜の提出不要)。前奏は Solo の3小節前より始める。

## ファゴット

### (1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。暗譜。



(2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 の Nos. 1-15 より当日 2 曲指定する。

(3) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 の Nos. 22-43 より任意の 1 曲

※(2)(3)は暗譜の必要なし。

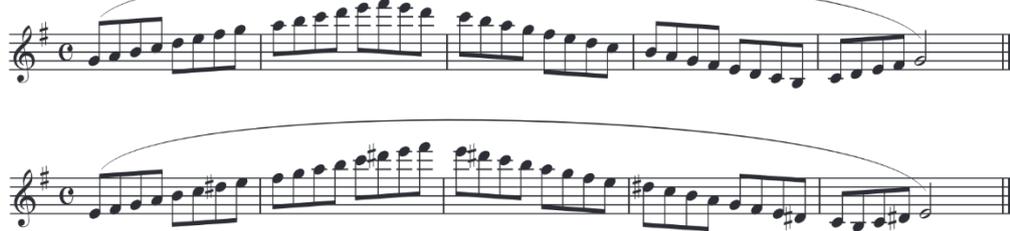
## サクソフォーン

⇒ アルト・サクソフォーンで演奏すること。

### (1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から当日指定する。暗譜。繰り返しなし。

#### 音階譜例



(2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones (F. W. フェルリンク『サクソフォーンのための48の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版] (A. Leduc)) より任意の奇数番号 1 曲と任意の偶数番号 1 曲の計 2 曲を演奏すること。

(3) 自由曲 1 曲 (編曲作品可。抜粋の場合は、楽章等を専攻別曲目記入票に明記すること)

※(2)(3)は暗譜の必要なし。伴奏なし。

## 金管楽器

### 音階および分散和音

ホルン、トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム共通課題

次の例にしたがって、長音階と短音階を暗譜で演奏すること。調性、音域は当日指定する。



## ホルン

(1) 音階および分散和音 (上記譜例参照)

調性、音域は当日指定する。

(2) W. A. Mozart : ホルン協奏曲 第 3 番 変ホ長調 K. 447 より 第 1 楽章 (カデンツァなし)

※(2)は暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。前奏は Solo の 4 小節前より始め、それ以降のカットなし。

## トランペット

---

(1) **Théo Charlier : 36 études transcendantes (Alphonse Leduc 版) より No.2 “Du style”**

(2) **以下の4曲より1曲を選択し演奏。**

- ①Théo Charlier : Solo de concours (Schott 版)
- ②Camille Saint-Saëns : Fantaisie en mi bémol (Alphonse Leduc 版)
- ③Roger Boutry : Trompetunia (Alphonse Leduc 版)
- ④André Chailleux : Morceau de concours (Alphonse Leduc 版)

※暗譜の必要なし。伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。

## トロンボーン

---

(1) **音階および分散和音 (前掲の譜例参照)**

調性、音域は当日指定する。

(2) **J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph (C. Fischer) より No. 8**

(3) **G. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (G. コプラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』(全音楽譜))より No. 15、No. 40**

※繰り返しなし。暗譜の必要なし。

## バス・トロンボーン

---

(1) **音階および分散和音 (前掲の譜例参照)**

調性、音域は当日指定する。

(2) **O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment (C. Fischer) より Nos. 5、23、25**

※暗譜の必要なし。

## テューバ

---

(1) **音階および分散和音 (前掲の譜例参照)**

調性、音域は当日指定する。

(2) **練習曲**

G. Kopprasch: 60 Selected Studies (R. King Music) Nos. 12、14、16、20、22

M. Bordogni: 43 bel canto studies (R. King Music) Nos. 1、4、7、12、14

以上の中から、当日指定する。いずれも途中でカットする場合がある。

(3) **J. S. Bach : Air and Bourrée (Wm. J. Bell 編曲)**

※(2)(3)は暗譜の必要なし。版の指定なし。

※(3)の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。

## ユーフォニアム

---

(1) **音階および分散和音 (前掲の譜例参照)**

調性、音域は当日指定する。

(2) **J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone の Nos. 3、4、5 より当日指定する。**

(3) **J. B. Arban : Variations on a Song “Vois-tu la neige qui brille” (The Beautiful Snow) (「輝く雪」の歌による変奏曲) Arban's Complete Conservatory Method 所収**

※(2)(3)は暗譜の必要なし。版の指定なし。

※(3)の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。前奏なし。

[使用楽譜] J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』No. 5 (ISR Collection, 全音楽譜)

## 打楽器

ティンパニ、小太鼓、マリンバのいずれかの課題で受験すること。

### ティンパニ

- (1) ロール *pp*  $\leftarrow$  *ff*  $\rightarrow$  *pp* Es(変ホ) (30秒以上)
- (2) R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger) の Nos. 19、26、39、40、43、44 より当日指定する。
- (3) 簡単な初見演奏
- (4) 小太鼓による2つ打ち (響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)
- (5) マリンバによる2オクターヴの長音階と短音階。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

### 小太鼓

- (1) 2つ打ち、ロール *pp*  $\leftarrow$  *ff*  $\rightarrow$  *pp* (30秒以上) (響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)
- (2) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm の Nos. 1、4、12、13、31 より当日指定する。
- (3) 簡単な初見演奏
- (4) マリンバによる2オクターヴの長音階と短音階。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

### マリンバ

- (1) 3オクターヴの長音階、短音階、分散和音。調性は当日指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。
- (2) M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の 39 Etudes より XV (15番)。
- (3) 自由曲 (伴奏なし)
- (4) 簡単な初見演奏
- (5) 小太鼓による2つ打ち (響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)

## ■ミュージック・リベラルアーツ専攻 (ピアノ演奏家コース) への転コースについて

総合型選抜でミュージック・リベラルアーツ専攻 (ピアノ) に合格し、入学手続きをした春学期入学希望者は、2024年2月に行われる転コース試験を受験し合格することにより、ミュージック・リベラルアーツ専攻 (ピアノ演奏家コース) へ転コースすることができます。

\* 転コース試験の結果が不合格の場合でも、総合型選抜の可否には一切影響ありません。

\* 本学入学後にもピアノ演奏家コースへの転コースの機会があります (例年各学年度末。詳細は入学後に掲示等で確認してください)。

### 【転コース試験課題】

本要項の「器楽専攻ピアノ演奏家コース」実技試験課題 (a 課題または b 課題) をご覧ください (実技試験のみ)。

### 【願書請求方法】

転コース試験出願を希望する場合は本学入試課にメールにて願書等を請求してください。メールの件名、本文には以下の通り記載してください。お電話での請求はご遠慮ください。

件名: 転コース試験願書希望 (MLA 専攻)

メール本文: ① 総合型選抜受験時の受験番号

② 氏名

③ 願書データ送信先メールアドレス

送信先: nyushi@tokyo-ondai.ac.jp

【検定料】28,000円

## ■「対面式」受験上の注意

- ①「対面式」試験当日の集合時間など受験に関する詳細は、試験初日の3日前までにメール等で通知しますので、必ずご確認ください。  
試験日時・会場に関する電話やメールでのお問合せはご遠慮ください。
- ②試験当日の大きな流れは原則として以下のとおりです。定められた時刻までに集合場所に集合し、以降は全て係員の指示に従ってください。  
**集合・受付** → **直前練習** → **試験**
- ③実技試験において集合時刻に遅れた者は受験を許可しません。やむを得ない事情(公的事情)により遅刻をした場合は、直ちに係員に申し出てください。
- ④練習室貸出は以下の通りです。
  - ・春学期入学者【10月入学試験】:練習室は貸出しません。
  - ・秋学期入学者【2月・3月入学試験】:入試期間中、受験生は大学の練習室を無料で利用することができます。試験終了後は使用できません。
- ⑤試験当日に持参するもの
  - ・受験票(各自で忘れずに印刷してください。受験票を持たない者は入構できません。)
  - ・筆記用具
  - ・昼食(試験が昼食時間におよぶ場合)
- ⑥保護者の入構はできません。
- ⑦服装については、特に指定しません。

## ■出願書類の記入・提出に関する注意

Web 出願サイトでユーザー登録を行った後、本学ホームページから必要書類を印刷します(5ページ参照)。印刷した出願書類とそれ以外の必要書類(調査書等)は、すべて揃っていることを確認の上、レターパックに封入し、宛名ラベル(Web 出願サイトに印刷)を貼り付けた上で期限内に郵送にて提出してください。本学の窓口では受け付けません。出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類は返還しません。

出願書類の記入については、以下の注意事項をよく読み、誤りや漏れのないよう記入してください。

- (1) 各出願書類は、黒、青インクまたはボールペンを使用し、文字は楷書で、数字は算用数字で正確に記入してください。書き損じた場合は、二重線を引いて訂正印を押し、空いているところに記入してください(修正液・修正テープは使用しないでください)。
- (2) 該当欄は記入または○で囲んでください。※欄は記入不要です。
- (3) 願書および受験票にはWeb 出願サイトでアップロードした写真が用いられます。カラー、正面上半身脱帽、縦4:横3の比率で、3ヵ月以内に撮影したものをWeb 出願サイトにアップロードしてください。眼鏡等の有無は問いません。
- (4) 曲目記入票について
  - ①演奏する曲目、作曲者、調名、作品番号、楽章等まで該当する欄に詳しく記入してください。
  - ②作品番号は、「Op.30 No.2」のように明確に、漏れのないよう記入してください。
  - ③楽章等の記入は、「第1楽章」「第2楽章」と「第」を入れて記入してください。
  - ④曲目等の記入は、特に指定がなければ、邦語、原語どちらでも構いません。
  - ⑤自由曲で一部省略する場合は、その箇所を記入してください。
  - ⑥出願後は、受験曲名、調の変更(訂正)は認めないので、間違いのないように正確に記入してください。
  - ⑦曲目記入票に記入された事項(作曲者、曲目、調名、平均律巻名、楽章等)が試験で演奏したものと異なる場合、原則として、失格になりますので注意してください。
- (5) 伴奏譜について  
声楽A、B 課題およびヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスのB 課題選択の志願者は、伴奏譜を出願書類に同封してください。伴奏譜の作成方法等は19ページ「伴奏譜の提出について」を参照してください。

※個人情報の取り扱いについて

- ①本学は、志願者の出願書類に記載された個人情報および入学試験の成績を入学試験業務に利用します。なおこれらの個人情報は個人情報保護法に則り万全の体制で管理します。
- ②本学は、上記の個人情報を大学入学者選抜および大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
- ③本学は、願書記載事項のコンピュータ登録業務、受験票、合格証、入学手続書類等の発送の業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合があります。

## ■入学者選抜試験における不正行為について

受験の際には、すべて試験監督の指示に従ってください。以下に該当する場合、不正行為とみなされます。

- ① 出願の際に本学に提出した書類・資料等に偽造、虚偽の記載、剽窃が見つかった場合
  - ② 受験生以外の者が、受験生本人になりすまして試験を受けた場合
- また、以下の行為をすると、不正行為とみなされる場合があります。
- カンニング(カンニングペーパーや参考書、他の受験生の答案を見ること、他の受験生から答えを教わること等)をすること。
  - 使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
  - 試験開始の合図の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
  - 試験終了の合図の後に筆記用具や消しゴムを持ち続けたり、解答を続けること。
  - 試験時間中に、他の受験生に答えを教えるなど、他の受験生を利するような行為をすること。
  - 試験時間中に、他の受験生に迷惑となる行為をすること。
  - 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ウェアラブル端末(腕時計型等)を身につけたり、作動させたりすること。
  - 非対面式試験において、「同意書」に記載の内容に反する行為をすること。
  - その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験実施中に不正行為と思われる行為が認められた場合、試験監督が注意し、試験の中止や退室を指示することがあります。不正行為の疑いに対処した時間があっても、その受験生は、試験時間の延長を求めることはできません。

不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料は返還しません。

## ■伴奏譜の提出について

声楽 A、B 課題およびヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスのB課題選択で受験される方は、以下の要領で伴奏譜を出願書類と共に提出してください。

### (1) 提出する伴奏譜

#### ① 声楽

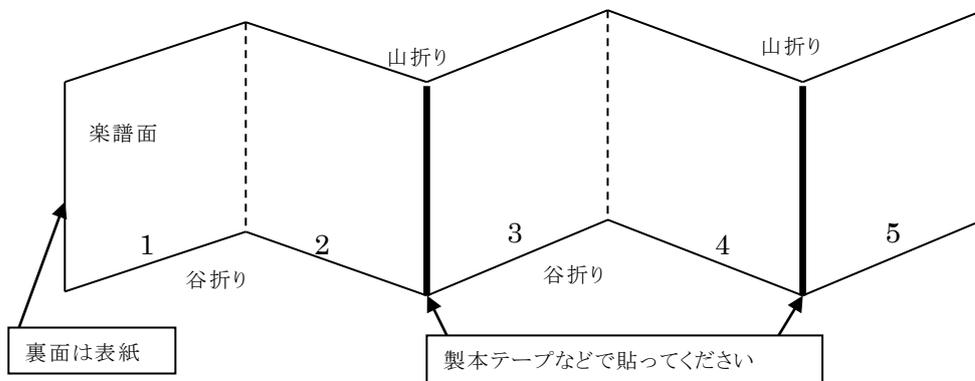
- ・自由曲
- ・課題曲で課題曲表のカッコ内に記入してある調以外で受験する場合の移調譜  
(課題曲カッコ内の調で受験する場合は、伴奏譜の提出は必要ありません)

#### ② ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

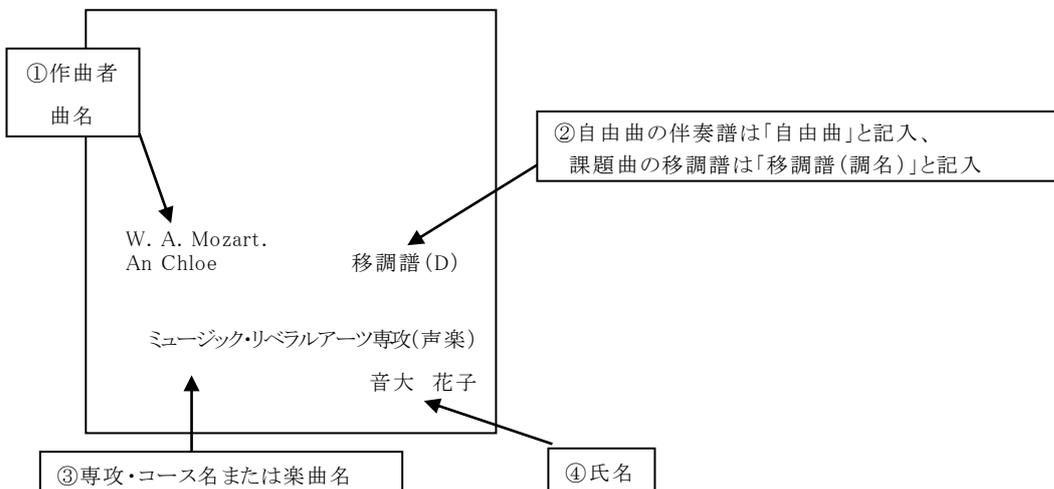
- ・B課題の自由曲

### (2) 伴奏譜作成手順

- ・楽譜は1ページA4縦とし、ページ抜けがないようにしてください。
- ・1曲ごとに表紙をつけ、表紙右下に①作曲者・曲名、②自由曲伴奏譜・移調譜の区別、③専攻・コース名または楽器名、④氏名を記入してください。
- ・2ページ以上になる場合は、アコーディオン状に折って、製本テープ(無地のマスキングテープ)等で貼ってください。セロファンテープは使用しないでください。
- ・書き込みは不可とします。コピーの濃淡等を調整の上、鮮明な楽譜を提出してください。
- ・手書きの伴奏譜を作成する場合は、定規等を使用し、正しく丁寧に記入してください。また、鉛筆ではなく、黒ボールペン等で清書した譜面を提出してください。



<表紙の書き方>※裏面は楽譜1ページ目



## ■奨学金・経済的支援制度について

本学の奨学金・経済的支援制度については、以下のリンクをご覧ください。  
<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/12765.php>



## ■学生寮（女子）について

自宅からの通学が困難（通学時間3時間以上を目安）な学生（女子）に対し、学生寮が設けられています。

### (1) 施設・設備

- ①所在地 〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷3-22-10(池袋キャンパス敷地内)
- ②収容定員 124名(高校生20名を含む)
- ③建物の構造 地上5階
- ④寮室面積 約8㎡
- ⑤寮室備品 デスク、収納棚、ベッド、エアコン、冷蔵庫 ※Wi-Fi完備
- ⑥付帯設備 ラウンジ、浴室、洗面所、洗濯室、パソコン、コピー機

### (2) 入寮費用

入寮金(入寮時のみ)	寮費
80,000 円	78,000 円(月払い・食費込) ※朝・夕 2 食(日・祝含む)

- ①寮費(月額)は、1年間にかかる総額の12等分となります。
- ②上記費用は、物価の高騰等により値上げする場合があります。

### (3) 申込方法等

#### ①春学期入学者

##### 【申込方法】

入寮希望者は、合格者に送付する合格証等の書類に同封されている「2024年度東京音楽大学学生寮入寮申込書」に必要事項を記入のうえ、入学手続書類に同封し郵送してください。

##### 【選考】

新年度の入寮可能数内で入学試験の成績・調査書類等を総合的に考慮のうえ大学が決定します。申込者多数の場合、入学試験に合格しても入寮許可にならない場合があります。

##### 【発表・手続】

- ・入寮を許可する者には、大学から直接通知します(12月下旬予定)。
- ・入寮許可後に辞退する場合は、至急学生支援課へ電話でご連絡ください。
- ・入寮手続の詳細は、大学からの入寮許可通知とともにお送りする入寮手続書類を参照ください。

#### ②秋学期入学者

2月、3月の時点で、学生寮に空室がある場合は、入試期間中に開設される受験生専用ページにて、募集の詳細をご案内します。

### (3) その他

- ①お盆および年末年始の指定日は、閉寮となります。
- ②入寮申し込みの際には、必ず入寮案内で詳細を確認してください。
- ③不明な点は、学生支援課(TEL 03-6455-2756)までお問い合わせください。

# 東京音楽大学

【中目黒・代官山キャンパス】

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1

【池袋キャンパス】

〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5

ホームページアドレス <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

問い合わせ先： 03-6455-2754(入試課直通) 日・祝日除く 9:00～17:00  
03-6455-2774(FAX)